

**レポート・論文の材料とする情報は、
典拠が明確・責任の所在がはっきり
しているものを選ぶ必要があります。**



インターネットは便利だけど・・・

インターネットの情報に

落とし穴！！



自分が誰だか名乗らずに文章が書けます

専門家のフリをしている人も・・・

わざと嘘を書いている人も・・・

文章を載せるのも消すのも自由です



明日には見られなくなってるかも・・・

知らないうちに書き換えられているかも・・・



レポートに使える情報かどうか

自分で見極められるようになりましょう

これって使える？

**政府や自治体の統計、白書、
報告書、企業の財務レポート**

○レポート・論文の参考資料にしてOK

**Wikipediaの記事内容、
論文・レポートっぽいもの**

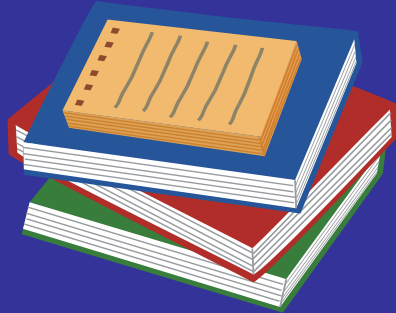
**Yahoo!ニュース、Google
ニュース**

**★出典を確認して
から使う**

**個人のサイト・ブログ・
SNSの書き込み**

**※そのままでは
参考資料として
使えない**

インターネット情報以外の資料の種類と特徴



図書

- ・ ある程度定まった研究成果をまとめたもの



雑誌論文

- ・ 最新の研究成果や時事的な情報を発表するもの



新聞記事

- ・ 事件や事故をいち早く伝えるため、事実を述べたもの

遅い

速い

専門的

網羅的